

## グループ教授記念号発刊によせて

グループ教授は1930年にミネソタ州マカレスト大学を卒業（B.A.）され、1937年にニューヨーク市コロンビア大学大学院を終了（M.A.）された。1932年9月米国合同長老教会教育宣教師として来日され、直ちに大阪女学院（当時ウイルミナ女学校と称した）にご着任になり、爾来定限年令に達せられる今日まで42年間、終始一貫、第二次大戦中も、文字通り生涯を日本のため、大阪女学院のために捧げて下さったのである。

大阪女学院は1947年学制改革により中学校高等学校両立となり、1956年専攻科（高校卒2ヶ年課程）英語コースを設置、1968年短期大学英語科を開設した。先生は教授（大学設置審議会判定）の任に就かれ、今日まで最終の6年間オーラルイングリッシュ、英文作法の講義並に演習とゼミナールを担当された。

先生はたえず愛ときびしさをもって学生を励まし、知的水準を高めること、英語能力は言うまでもなく、広く世界に眼を向けて国際人として高いものを身につけることを教えられた。先生は又信仰者として現在の社会を正しく見きわめること、正しく生きることを声を大にして説かれた。学生、生徒の良き相談者として大きな働きをなさったことを忘れることは出来ない。

今日、この有能な先生を大阪女学院から送り出すことは、誠に残念であるが、この立派な先生を与えられていたことを感謝し、先生のご幸福を心から祈りつつお別れしたいと思う。

1974. 2. 12

大阪女学院長代行 白 水 喜 造